

二年に一度開催されるスキーオリエンテーリング世界選手権。
日本の堀江守弘はこの大会にすべてをかけ、レッドグループ(15位)入りを目指して、
万全の体制で臨んだ。

堀江守弘に給水をサポートする
武石チームリーダー

2007 世界選手権ロシア大会
ロングディスタンス競技
会場デポジット地点にて



不安と不満のモスクワ

この大会にすべてをかけ、万全の体制で臨んだ。ロシアへの遠征は昨年のワールドカップ以来二度目。日本から食料を持参するなどレース以外の面でも対策を練って望んだ。

しかし、ロシアは日本とは別世界。空港に着いてみると迎えに来ているはずの大会主催者の姿はなく、三時間も待たされたあげく、定員オーバーの車に荷物ともどもぎゅうぎゅう詰めに入れられ寒さに震えながら二時間も走るなど、日本では想像すらできない扱いでスタートを切った。

その後もバスの遅れや宿泊施設の問題などに悩まされながらも、大会は始まった。

選手権レース始まる

初日はスプリント。

きれいに晴れ渡った青空とは裏腹に気温は - 20 度。足の先から頭まで厳しい寒さが襲う。序盤でミスをしたが後半建て直し23位という好成績でゴール。

3 種目の個人戦の中では苦手とする種目だけに、まずまずの結果だ。

目指せ 15 位！

二日目、ロング。

自分にとってはもっとも上位を狙える種目であり、そのためのトレーニングも十分に行ってきた。

スタートしてまもなく思わぬアクシデントが！？ポールの先が何かに衝突し、割れてしまった。ポールが折れなかったことがせめてもの救いだが、一度会場に戻るまでの全体にして3分の1は右のポールが壊れたまま滑ることになった。

ロングは一斉スタート方式なため、上位選手にどこまでくらいついていく

ことができるかが最好成績を呼ぶ鍵となるが、アクシデントと同時に集団からは離され、一人旅となってしまった。結果としてロングでは不完全燃焼の29位。くやしい結果に終わった。

意識した集中心

一日の休養日を経て、三種目目、ミドル。

ロングでのくやしさを晴らすべく、前日から燃えていた。終始自分のペースで安定した滑り・ナビゲーションをすることができ、自分としては合格点のレース内容。

スプリントの順位には一歩及ばなかったが、24位と健闘。

残念なメンバー不足

最終日はリレー。

残念ながら日本男子チームは一人が仕事の関係でロングの後に帰国したため、男性のみでチームを組むことはできなかった。そこで、男性2名に女性1名を加えた混合チームでの出場となった。

好成績とは言えないが、無事ゴールできたのは日本チーム全体の成長の証といえるだろう。

二年前フィンランドで行われた世界選手権と比較すると、大幅に記録を更新できたが世界との差は未だ顕著である。

2009年3月には日本での世界選手権開催が決定しており、自国開催ということで注目が集まることは確かだ。この舞台で6位入賞を目標として再スタートを切りたい。トレーニングのみならず、スポンサー獲得などの面でも力を入れていきたい。

常識は通用しない

ロシア遠征の際にはご注意ください！

日本は豊かな国、素晴らしい国だと言われることがありますが、今回の遠征でも日本のよさを再確認することができました。日本の常識は全く通用しない、それがロシアでした。

ブリテンに明記されていた通り、空港から会場への送迎は要望に応じて主催者が行うことになっていました。

渉外を担当していた私は、日本出国前に複数回にわたって到着日時と便名をメールしていたのですが、現地の空港で私たちを出迎えてくれたのは客引きをしているあやしいタクシーの運転手たちだったのです。

また、トレキャンで泊まった宿のエレベーターは、日本だと確実に違法となるような古くて今にでも故障しそ

うなものでした。「開く」ボタンがないらしく、素早く乗り降りしないと挟まれ、挟まれてもそのまま閉じようとするので非常に危険でした。

そんなエレベーターでも、動くだけよかったです後日思いました。大会期間中に泊まった宿では、エレベーターが故障中だったため、六階の部屋まで毎日、毎食階段を使いました。

水が出なくなったことも何度かありました。おかげで、蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくるのがどんなに素晴らしいことなのか、実感できました。

尚、断水から復旧したばかりの水は茶色くにござっており、手を洗うことすらできないような水でした。

私たちが泊まったホテルは大改装中でした。普通、ホテルの改装工事を行うとしても部分的に行い、工事の階にお客を泊めることはないでしょう。

そんな常識もロシアでは通用しません。

工事のため、廊下はボロボロ。50mくらいある長い廊下なのに明かりは裸電球3つだけ。壁をはがしたり、斧で砕いたりしているため、一日を通してほこりっぽく塵が舞っていました。



工事中のモスクワオリンピックホテル

なぜ世界選手権期間中に工事を行うのか、なぜ工事ののホテルに私たちが泊めるのか、日本の常識では理解できない環境でした。

ちなみに、日本チームの泊まった宿は、最高ランクのアコモデーションA、一泊三食付き75ユーロ=約12,000円です。

(堀江守弘)

[SKI-O研究会の追記]

Ski-WOC2007 日本代表チームの公式記録、日程と参加報告、ワックス選択等々に地図の一部を添付した「報告書」が発行されました。特に女子選手が出産後代表選考までのトレーニング努力は一読に値するものです。

在庫販売中(一部500円、送料含む) 送り先氏名、〒住所、電話、部数を明記して下記にお問い合わせください。

E-mail ski-o.takeishi@poppy.ocn.ne.jp

電話&Fax 0237-43-5106

SKI-O 国際大会

10F が発表しているスキージョイントを紹介しします。

ワールドカップ(WC)

ラウンド1

2007年12月10-15日

スウェーデン、Idre

ラウンド2 (兼ヨーロッパ選手権大会)

2008年1月14-20日

スイス、S-chanf

ラウンド3 (兼 JWOC, ETOC)

2008年2月11-18日

ブルガリア、Borovets

ラウンド4

2008年3月3-9日

カザフスタン、Ridder city

ジュニア世界選手権大会 (JWOC)

2008年2月11-18日

ブルガリア、Borovets

世界マスターズ選手権大会 (MWOC)

2008年1月14-20日

スイス、S-chanf

2009年世界選手権大会 (WOC)

2009年3月3-9日

日本・北海道ルスツ

是非成功させ、オリエンティアの悲願である冬季オリンピックの採択を目指しましょう。

日本スキーオリエンテーリング研究会では、参加希望及びオフィシャル・サポーターの問い合わせに応じます。

E-mail ski-o.takeishi@poppy.ocn.ne.jp

電話&Fax 0237-43-5106

選手強化の援助金を募金中です。

郵便振替口座：02200-7-80565

ば・る・る振替：18530 17871511

名義：日本SKI-O研究会

(武石雄市)